

新旧対照表

【高重合度ポリエチレンテレフタレートに対して課する不当廉売関税に関する取扱いについて（平成29年9月1日財関第1131号）】

(注) 下線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p>4 不当廉売関税が課される申告の端数計算</p> <p>不当廉売関税が課される場合の端数計算は、次のとおりとなるので留意する。</p> <p>(例)</p> <p>① 一般関税 (CIF 價格) (税率 (協定税率))</p> $3,285,932 \text{円} \quad 3.1\%$ $3,285,000 \times 0.031 = 101,835 \text{円} \quad \text{(端数処理前)}$ <p>(端数処理後) ↓</p> <p>101,800円 (端数処理後)</p> <p>② 不当廉売関税 (CIF 價格) (税率)</p> $3,285,932 \text{円} \quad 53.0\%$ $3,285,000 \times 0.53 = 1,741,050 \text{円} \quad \text{(端数処理前)}$ <p>↓</p> <p>1,741,000円 (端数処理後) (納付税額)</p> <p>③ 消費税 (内国消費税等課税標準額) (税率)</p> $3,285,932 + 101,800 + 1,741,000 = 5,128,732 \text{円} \quad 7.8\%$ $5,128,000 \times 0.078 = 399,984 \text{円} \quad \text{(端数処理前)}$ <p>(端数処理後) ↓</p> <p>399,900円 (端数処理後) (納付税額)</p> <p>④ 地方消費税 (税率)</p> $399,900 \text{円} \quad 22/78$ $399,900 \times 22 \div 78 = 112,792 \text{円} \quad \text{(端数処理前)}$ <p>(円単位未満切り捨て) ↓</p>	<p>4 不当廉売関税が課される申告の端数計算</p> <p>不当廉売関税が課される場合の端数計算は、次のとおりとなるので留意する。</p> <p>(例)</p> <p>① 一般関税 (CIF 價格) (税率 (特惠税率))</p> $3,285,932 \text{円} \quad \text{無税}$ $3,285,000 \times 0 = 0 \text{円}$ <p>(端数処理後)</p> <p>② 不当廉売関税 (CIF 價格) (税率)</p> $3,285,932 \text{円} \quad 53.0\%$ $3,285,000 \times 0.53 = 1,741,050 \text{円} \quad \text{(端数処理前)}$ <p>↓</p> <p>1,741,000円 (端数処理後) (納付税額)</p> <p>③ 消費税 (内国消費税等課税標準額) (税率)</p> $3,285,932 + 1,741,000 = 5,026,932 \text{円} \quad 6.3\%$ $5,026,000 \times 0.063 = 316,638 \text{円} \quad \text{(端数処理前)}$ <p>(端数処理後) ↓</p> <p>316,600円 (端数処理後) (納付税額)</p> <p>④ 地方消費税 (税率)</p> $316,600 \text{円} \quad 17/63$ $316,600 \times 17 \div 63 = 85,431 \text{円} \quad \text{(端数処理前)}$ <p>(円単位未満切り捨て) ↓</p>

新旧対照表

【高重合度ポリエチレンテレフタレートに対して課する不当廉売関税に関する取扱いについて（平成29年9月1日財関第1131号）】

（注）下線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<u>112,700円</u> （端数処理後） (納付税額)	<u>85,400円</u> （端数処理後） (納付税額)